

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

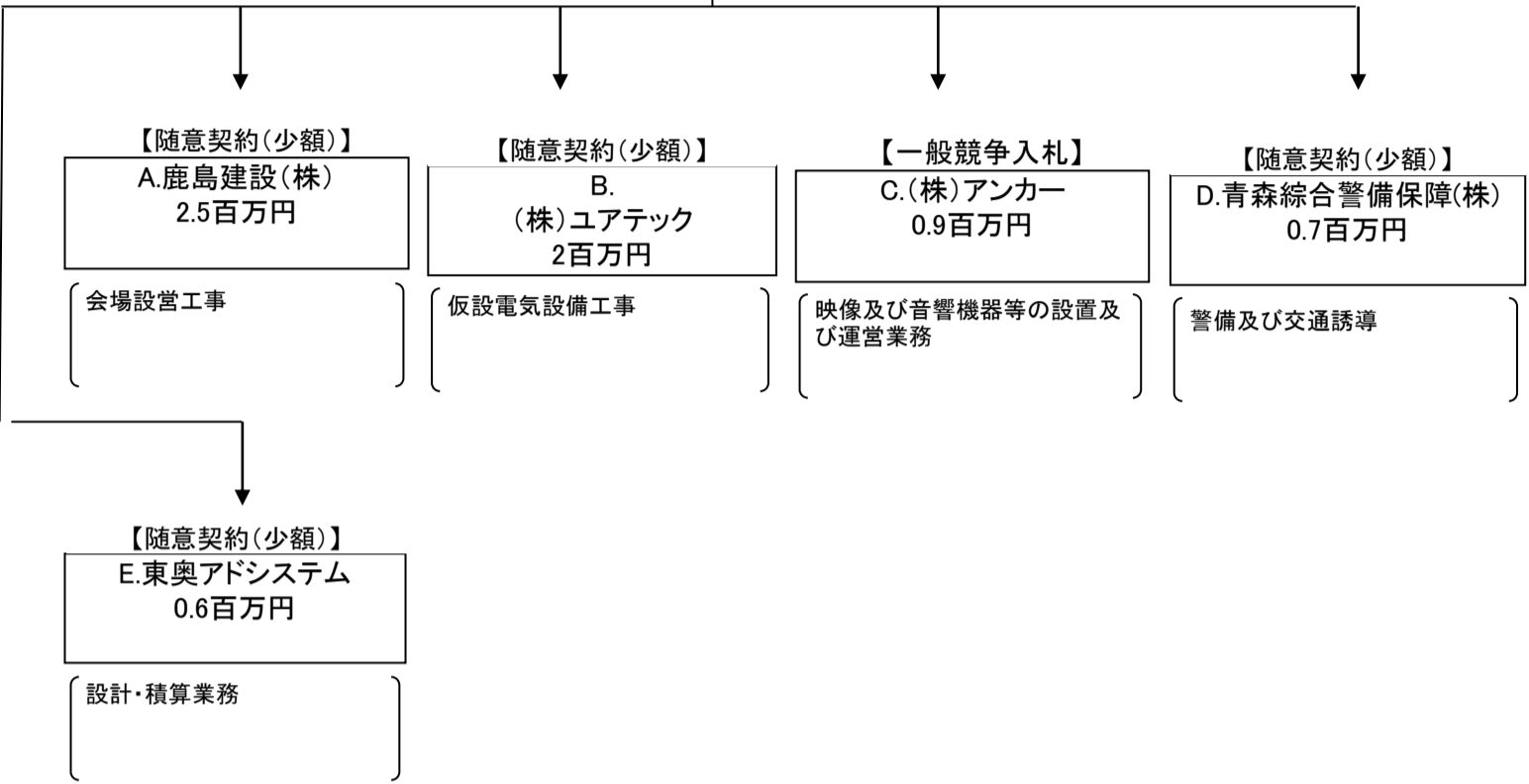
事業名	安全審査に係る地元公聴会（公開ヒアリング）等		担当部局庁	原子力安全委員会事務局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度		担当課室	総務課		水間 英城			
会計区分	一般会計		施策名	14-① 原子力利用の安全確保に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力基本法第4条、第5条第2項</li> <li>原子力委員会及び原子力安全委員会設置法第13条第1項第1号、第2号</li> </ul>		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力安全委員会の当面の施策の基本方針について(平成16年9月原子力安全委員会決定)</li> <li>原子力安全委員会の行う原子力施設に係る安全審査等について(S54.1.26 原子力安全委員会決定 H21.4.23 改正)</li> <li>公開ヒアリング等の実施方法について(昭和57年11月原子力安全委員会決定)</li> </ul>					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	原子力施設立地地域等において自らシンポジウムを開催することにより、国民との双方向の対話の推進に努める。また、実用発電用原子炉等の主要な原子力施設の設置許可等の審査に当たって、地元住民の意見を把握し、これを参酌するため、公開ヒアリングを実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	主要な原子力施設の設置に関する安全審査の一環として、施設固有の安全性について地元住民の意見等を聴取し、これを参酌することを目的として、原則、原子力施設の地元において、対話形式の公開ヒアリングを実施する。また、原子力の安全に関する諸課題のうち、共通の課題については、専門家が出席するシンポジウムを開催し、重要な意見については、安全規制施策に反映させることとする。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予算の状況	当初予算	56	25	25	27	2		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	56	25	25	27	2		
	執行額	3	0	11					
執行率(%)	5	0	42						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)		
	原子力発電所等の設置の許可等に関する安全審査に当たり、地元住民の意見等を把握し、参酌する。(規制行政庁からの諮問や報告に基づいて実施するため、成果目標の数値は記載できない)(公開ヒアリング)	成果実績		把握	-	把握			
		達成度	%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)		
	開催後のアンケート結果(理解度)(シンポジウム)	成果実績		平均79%	平均86.6%	-			
		達成度	%	60%以上	60%以上	60%以上			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込		
	原子力安全委員会が主催する公開ヒアリングの実施件数(公開ヒアリング)	活動実績 (当初見込み)		1件	0件	1件	-	( )	
				-	-	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込		
	国民と原子力安全委員会委員との直接対話の場としてのシンポジウムの開催回数(シンポジウム)	活動実績 (当初見込み)		5回以上	3回	0回	-	( )	
				-	-	-			
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠						
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.1	0.1	公開ヒアリングについては、主要な原子力施設の設置について、規制行政庁からの諮問を受けた安全審査案件に応じて実施することとしており、このため、概算要求時には、翌年の安全審査案件の見通しをたてにくい状況となる場合があるが、今後の予算要求においては、新組織体制、関係省庁の動向を見つつ必要な実施件数に応じた予算要求を行うこととする。なお、概算要求時に予定されていた平成23年度の公開ヒアリングは2件であったため、平成23年度の予算は平成22年度よりも増額となっているが、平成22年の執行実績及び平成23年度の予定案件の内容を勘案し、1件当たりの金額を20百万円(平成22年度)から13百万円(平成23年度)に見直している。 シンポジウムについては、東日本大震災の影響により平成23年3月に予定していたが実施することができなかった。今後の予算要求においては、原子力安全委員会が定める指針類の改訂状況の国民への説明の場が必要と考えられることから、社会とのコミュニケーションに資するために必要に応じて要求を見直すこととしたい。					
	職員旅費等	3.6	0.2						
	委員等旅費	0.7	0.2						
	原子力安全業務庁費	23.0	1.7						
計	27	2							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各事業の実施にあたっては、会場設営・運転管理の個別発注化、設備の簡素化・削減による効率化や、一般競争入札などにより支出先の選定の適切化を行う途共に、契約時には、経費内訳などの確認により、使途を把握するよう努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後とも引き続き一般競争入札及び少額の随意契約においては複数の業者から参考見積もりをとるなど費用の節減を図るとともに、内容の精査・整理統合等を含めた必要な見直しを行う。東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえた原子力発電施設の安全基準や原子力施設等の防災対策の見直しについては、事故に関する事実関係が明確になっていないものの、安全審査の基本的考え方を示す指針等に不備があったことから、予断を持たずに事故原因を自ら検証し、安全確保の在り方について、抜本的な見直しを行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえた原子力発電施設の安全確保の在り方の抜本的見直しの方向性に留意しつつ、必要に応じて事業の見直しを検討すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえた原子力発電施設の安全確保の在り方の抜本的見直しの方向性に留意しつつ、必要に応じて事業の見直しを検討しているところ。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成22年度予算執行調査において、原子力施設設置許可に係る安全審査(地元公聴会開催)経費については、開催地域や開催会場の形態等によっては必ずしもこれまでの工夫や今回指摘した事項についての効率化を行うことが困難な場合もあると思われるが、今回の検証を踏まえ引き続き経費節減に努めるべきである。			

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足  
する) (単位: 百万円)

出張旅費等  
3百万円

原子力安全委員会  
11百万円



A.鹿島建設(株)					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	会場内の机、椅子等の設置	0.9			
工事費	間仕切り等の設置	1.0			
諸経費		0.6			
計		2.5	計		0.0
B. (株)ユアテック					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	仮設電気設備工事	1.8			
諸経費		0.2			
計		2.0	計		0
C. (株)ユアテック					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D. (株)ユアテック					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿島建設(株)	会場設営工事	2.5	随意契約(少額)	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	I.(株)ユアテック	仮設電気設備工事	2.0	随意契約(少額)	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
2	H.(株)アンカー	映像及び音響機器等の設置及び運営業務	0.9	5	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
3	O.青森総合警備保障(株)	警備及び交通誘導	0.7	随意契約(少額)	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
5	K.東奥アドシステム	設計・積算業務	0.6	随意契約(少額)	